

経営と人材の活用を考える情報紙 月刊デンタルパワー

# 月刊デンタルパワー DENTAL POWER

2006年  
**11月号**  
通巻(262号)

購読料  
年間 **5,000円**  
(送料別)

(発行) **デンタルリサーチ社**  
〒1160-0003 東京都港区三軒が樋9-2-200ビル2F  
TEL 03-3357-8581 FAX 03-3357-8650  
E-mail dentalresearch@ dnt-japan.co.jp  
http://www.dnt-japan.co.jp

BEAUTIFIL II

定評ある審美性に、使いやすさもプラス!  
審美性歯科充填用コンポジットレジン  
**ビューティフィルII**

販売名  
ビューティフィルII  
コンポジットレジン  
1kg(4.5g) - ¥3,300

株式会社 松風  
〒1705-2025 東京都板橋区上板橋4-11-1 TEL:03-569-1119

## 「医療安全」の潮流に歯科業界はどう応えるか

### ワールドデンタルショー2006で占う 今後の歯科のあり方

4年に1度開催されるワールドデンタルショー。第5回目となる今年は、神奈川県のパシフィコ横浜展示ホールで10月13日から3日間開催され、約4万人の来場者を集めて賑わいをみせた。デンタルショーは歯科の動向を如実に反映することから、歯科界の今後を占う格好の機会といわれている。そこで、現在歯科界を取り巻く社会、患者動向などの背景を踏まえながら、今回のデンタルショーを通して今後の歯科医療のあり方を考えてみよう。



●今月の主な内容●

月刊デンタルパワー  
1年購読料5,000円  
お申込みはTEL03-3357-8581  
FAX03-3357-8650  
E-mail dentalresearch@ dnt-japan.co.jp

経営 4~6頁

●新製品  
10月13日より行われたワールドデンタルショー2006の中から本誌が選んだ新製品・注目製品の数々を紙上でご紹介します。詳細のお問い合わせは編集部まで。

8頁

●連載  
田村に志先生の「クリニカルコミュニケーション」も丸3年がたちこでひと区切り。過去のタイトルを振り返り、ポイントを総括していただきました。

13頁

●対談  
これからの歯科医師のあり方について、その大きな可能性を口腔医学学会の星野清典理事長と、ホリスティック医療の佐藤卓夫氏に語って頂きました。

経営 14頁

●社会  
「歯が痛くなくなる音楽」? ただ耳に心地よだけでなく、自律神経に働きかけて痛みを和らげる音楽の謎を解き明かす。

### 医療安全対策の義務化決まる

日本の歯科医療は、国民皆保険制度を中心に進められており、医療法などの法令諸規則とは切っても切れない関係にある。

来月4日より施行される改正医療法の中では、病院に義務づけられていた医療安全の指針の策定や、医療安全を確保するためのさまざまな措置が、歯科医院にも義務づけられることになった。ただし、少人数で運営している歯科医院の中に、安全対策の委員会を設けるといってもむずかしい話でどこまで対応するかについては現在日本歯科医師会がガイドラインの検討を急ピッチで進めている。いずれにしても法律として定められたわけで、歯科医院も病院と同様に安全対策が求められていることは認めなければならない。

日本歯科医師会では「歯科医療安全ネットワーク事業」を実施することを発表し、今後医療事故や民事紛争の情報収集と分析を進めることを明らかにした。また、対策の内容は「医療事故」、「感染対策」、「薬剤の管理」などが中心になると考えられる。

その中で個々の歯科医院が、国民が求める「安全」とは何かを把握し、その要求に応えていくことは、

### 医療法の一部改正

(参考：平成18年6月21日付け官報より)

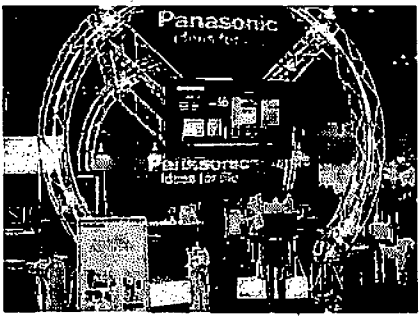
良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律をここに公布する。

御名 御座  
平成十八年六月二十一日  
内閣総理大臣 小泉純一郎

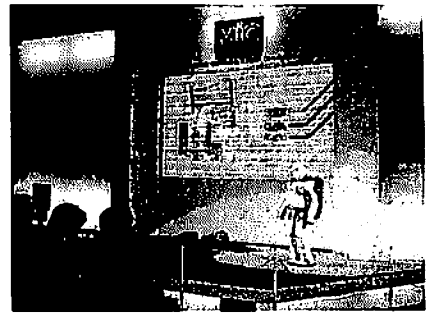
法律第八十四号  
良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律  
(医療法の一部改正)  
…中略…

第三章  
第六条の十 病院、診療所又は助産所の管理者は、厚生労働省令で定めるところにより、医療の安全を確保するための指針の策定、従業者に対する研修の実施その他の当該病院、診療所又は助産所における医療の安全を確保するための措置を講じなければならない。

伸び悩む歯科医院経営を向上させるための大きなカギになるのではないだろうか。そこで、まず全国の医療施設を利用する患者の意識について、データをもとに考えてみよう。(2面へつづく)



4万人が来場したワールドデンタルショー会場



話題のアンモが登場し人気を博した

(1面より続く)

### 患者の2割が医療に「不安」

#### ■「安全のための取り組み」47%が要望

厚生労働省は昨年10月に、全国500箇所の一般病院を利用する約22万人の患者を対象に調査を行い、患者の受療状況や受けた医療に対する満足度などを「平成17年度受療行動調査の概況」としてまとめ、その内容を明らかにした。

まず、外来患者がほしいと思った情報については、「医師の専門分野・経歴」(54.4%)、「夜間・休日診療、在宅診療実施の有無」(48.4%)について、「安全(医療事故防止など)のための取り組み」が46.6%となっており、半数近い患者が安全対策を求めていることがわかる。

#### ■「設備や衛生環境が不安」は4人にひとり

ところがその医療に関する「安全」について見てみると、外来患者の約2割が「不安になった」と答えており、その理由として、「医師や看護師の対応」(44.0%)、「検査や治療行為」(34.3%)、「設備や衛生環境」(23.0%)とする回答が挙げられた。

したがって医療施設がいま求められていることは、まず医師やスタッフの人的資質の向上、つぎに医療の質の向上、そして、特に感染対策などを目的とする院内環境の改善ということになる。

### 35社が「医療安全」を提案

今回のワールドデンタルショー2006では、依然好調なインプラント、2011年のレセプトオンライン化を視野に入れた歯科用OAが予想通りの盛り上がりを見せた。また商品の展示数からみると、歯科用レーザーに加え、マイクロスコープや診療用ルーベなどが目立って増えてきている。

また、従来のデンタルショーではあまりお目にかからなかった開業支援、人材紹介、インターネットWebサイトなどの情報ビジネス企業がつぎつぎと名乗りを挙げ話題の多い会場となった。

そこで、出展企業220社に対して「安全」、「感染対策」、「感染防止」、「滅菌」、「消毒」をキーワードに会場の全ブースをチェックしたところ35社がヒット、16%といえよおよそ6件に1件が該当するわけだが、「学会の講演でも院内感染対策に関連するテーマが5題もあったのは異例のこと」と久保寺先生は指摘する。

“学術”と“産業”のめざす方向が一致し、その先の課題は“臨床”の現場である歯科医院で「医療安全」をどう実現させるかということになる。



景気回復を期待し各ブースとも近年にない力の入れよう

#### ■外来患者がほしいと思った情報(平成17年度受療行動調査の概況:厚生労働省統計情報部)

医師の専門分野・経歴	54.4%
夜間・休日診療、住診・在宅医療の有無	48.4%
安全(医療事故防止等)の取り組み	46.6%
治療方法・治療実績	45.6%
第三者機関による評価	42.6%
連携先の医療機関名	35.1%

#### ■外来患者が不安になったこと(平成17年度受療行動調査の概況:厚生労働省統計情報部)

医師や看護師の対応	44.0%
検査や治療行為	34.3%
病院の設備や衛生環境	23.0%
その他	29.8%

#### ■“安全”が繁栄へのキーワード

「今後の歯科のあり方は、“安全”がキーワードになることは間違いないでしょう」と話すのは、デンタルショーウォッチャーとして知られる久保寺司先生(東京・八王子市開業)である。

4年に一度、国際歯科大会と併催して行われるワールドデンタルショーは国内最大規模のデンタルショーとして今年5回目を迎えた。10月13日

から3日間にわたってパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)で行われたワールドデンタルショー2006では、4万2000名余の来場者を集め、出展企業は220社と過去最大規模の開催となった。「デンタルショーに歯科界の今後を占うヒントあり」との言葉にしたがい、なぜ今後の歯科界にとって“安全”がポイントになるのかを久保寺先生とともに検証してみよう。

#### ■第5回ワールドデンタルショー2006 来場者数 単位:人 (デンタルショー運営事務局調べ)

職種	10月13日(金)	10月14日(土)	10月15日(日)	合計
歯科医師	1,104	5,015	8,053	14,262
歯科技工士	399	2,577	3,621	6,597
歯科衛生士	565	3,898	5,289	9,752
学生	297	439	1,253	1,989
同伴者	233	508	1,085	1,826
業界関係者	2,694	2,654	1,767	7,115
合計	5,292	15,181	21,068	41,541

### 開業医の目で選ぶ

臨床現場で院内感染に関わる「医療安全」をどうやって実現させるかについて、今回登場した新製品や注目製品をもとに、開業医の視点から久保寺先生に解説して頂いた。(以下久保寺先生談)

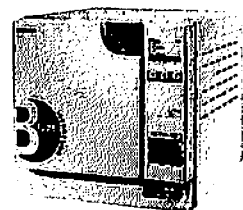
久保寺:佐藤歯材㈱の佐藤文昭社長や滅菌器等に力を入れていたリンカイ㈱が以前から提唱していた、歯科医院における消毒や滅菌のあり方に、やっと時代が追いついたという感じですね。クラスBという世界水準のオートクレーブ「E9」(2面写真①)が登場したことは

その象徴とも言えるでしょう。今まで感染対策の講演やセミナーはわざわざ聞いたことがありませんでしたが、来春からの改正医療法への対応もあるのでこの洗浄・消毒・滅菌については一通り聞きました。

具体的な製品として期待できるものは、洗浄段階では作業するスタッフの感染事故を防ぐため手洗浄を必要としない「Getinge1345」(3面写真②: 衛テニックス)や、「Sterisafe」(3面写真③: 東京歯科産業)など、感染対策システムのひとつのパターンとしては「IMS・インスツルメント管理システム」(4面写真④: ヒューフレディ)が挙げられます。(3面へつづく)



消毒法改定以降商品説明はより詳しくていいに



①E9・クラスB滅菌器  
最新のヨーロッパ基準EN13060に適合するインプラント・口腔外科向け高性能滅菌器。(㈱リンカイ)

(2面より続く)

その後に行う滅菌は前に述べた「E9」(リンカイ歯)が、インプラントや外科処置をおこなう場合には必須ということになるでしょう。

特にインスツルメントをバックに収納して滅菌する場合には、クラスNのオートクレーブにあまり詰め込むと蒸気が十分にまわらず、試験的に測定したところ滅菌できていないことが分かりましたので注意が必要だと思えます。クラスNのオートクレーブを使用するのであれば、バックに詰めず適量を守ることが必要です。

なお周辺商品としては、一本ずつ滅菌してバックした歯間ブラシ(3面写真⑤)：「スーパークリーン」(クリアデント社)など、細かいものですが院内で刷掃指導をするときなどに使えば、患者さんに好評ではないかと思えます。

また、術中に无影灯に手を触れずに患者さんの口元に焦点を合わせることができる「ハロゲンHOSPILITE」(4面写真⑥：第一照明機)なども、院内感染対策の一環として考えれば今後需要が伸びる商品のひとつではないかと思えます。

白衣にしても、専門メーカーのナガイレーベン歯によれば、半袖では袖から先と手袋の間の露出した腕の部分が危険なので、あえて長袖や中長袖のタイプをオーダーされるケースが増えていることです。肝炎の潜在的な患者数が非常に増えていることから、診療にあたるドクターやスタッフのリスクはとて高いと考えられますから。

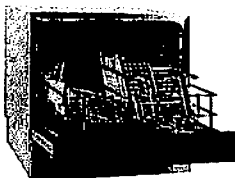
## 「医療安全」の本質

久保寺先生が語るように、今後の歯科に「医療安全」が大きな課題であることは間違いない。ただし、それを「差別化」の一つの方法に結びつけるのは誤りではないだろうかと思えます。

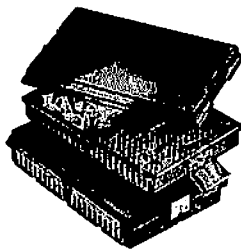
「院内感染対策は収入に直結するわけでありません。しかし医療機関としては当然取り組むべき事の一つであり、コストがかかるからといって自費診療と保険診療の患者さんで使い分けられるものでもないはずだ。」(4面へつづく)

### ②Getinge1345

卓上型ウォッシャー・ディスインフェクター。再生器材の洗浄・消毒を全自動で行う医療用洗浄器。手洗浄による感染事故をふせぎスタッフの安全も確保する。13B1X00176 (歯デニックス)



③Sterisafe・滅菌収納ケース  
インスツルメントを収納したまま、滅菌・保管が可能。ドイツ製。(東京歯科産業)



⑤スーパークリーン・歯間ブラシ  
1本ずつ滅菌してバックした歯間ブラシ。刷掃指導の際に効果的。(クリアデント)



## 世界水準の滅菌能力を持つ「E9」を発表

リンカイ株式会社 見崎努取締役社長に聞く

●今回クラスBのオートクレーブ「E9」を発表し注目を集めています。その特徴は…

見崎「簡単に言えば、国際標準「EN13060」に対応するクラスBのオートクレーブは、高圧蒸気滅菌する前工程として、まず内部を減圧して真空状態にするため、バックしたもので蒸気が行き渡る仕組みになっています。一般に日本で普及しているクラスNの機器はこの前工程がないので、歯科のインスツルメントをバックに入れた場合、ピンセットなどのいわゆる“棒モノ”なら大丈夫ですが、中空の“筒モノ”までは完全に滅菌することはむずかしいようです。」

●世界的に見るとクラスBの機器の普及率は？

見崎「表に示すとおり、ヨーロッパやアジアでは公立の医療機関の8割以上が採用しており、

明らかにクラスBが世界の主流となっています。日本が出ていないのは比較にならないほど普及率が低いからです。また、アルコールを使用するケミクレーブという製品を生産していた企業のほとんどがクラスBの機器の生産に切り替えている状況を見ても、明らかに方向はクラスBに向かっていると考えるでしょう。」

●日本でクラスBの水準は必要でしょうか？

見崎「ヨーロッパでは院内感染による訴訟は現実の問題となっています。「E9」は滅菌状態を確認するインジケーターを用いて試験結果を記録しプリントアウトすることもできます。国内でインプラントの需要が高まっている現状を考えれば、患者さんと術者の健康を守るだけでなく、医院の存在をも守る意味合いで、今後必要性が高まるのではないのでしょうか。」

主要国及びアジア近隣諸国におけるクラスB滅菌器の普及状況

国名	公立	民間
中国	80%	20%
韓国	100%	30%
マレーシア	80%	10%
タイ	80%	10%
シンガポール	100%	60%
アラブ湾岸諸国	80%	40%
イラン	100%	10%
西ヨーロッパ	100%	90%
東ヨーロッパ	80%	30%
アメリカとカナダ	60%	20%
北アフリカ	25%	10%
アフリカ	10%	5%
中央・南アフリカ	10%	20%

### ※注

①イランでは2006年1月1日から、公的な医療機関ではクラスB滅菌器を設置することになった。  
②東ヨーロッパはEUに準ずる。アメリカ、カナダはFDAを標準とする。

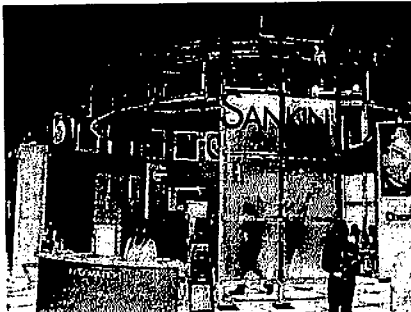
## ブース拝見

基本コンセプトは

「エステティックソリューション」

デンツプライ三金株式会社

デンツプライ三金株式会社は今回ワールドデンタルショー2006出展にあたり、「エステティックソリューション」を基本コンセプトに、「人々の生涯を通じた歯の健康に貢献し、より豊かなクオリティ・オブ・ライフを実現する」を使命として、デンツプライグループの有する世界規模の経験、知識、人材のシナジーを最大限に発揮し、デンタルケアの課題に対して、革新的かつ高品質な解決策を迅速に提供することをメッセージとした。開催期間中にはテーブルクリニックの演者に田中譲治先生(「メタルにかわる審美補綴材料ジルコニアの応用」、三浦宏之先生(東歯大大学院教授「セルコンシステムによるオールセラミックブリッジの臨床結果と今後の展望」)



斬新なデザインのブースが注目を集める

のお二人を招き講演が行われた。

展示ブースは3つのコーナーを設け、矯正コーナー、チェアサイドコーナーに加え、エステティックソリューションコーナーとして、話題のオールセラミックブリッジのセルコンシステム、セルコンアパットメントを紹介、斬新なブースには開催期間中に多くの歯科関係者が訪れ賑わいをみせた。今回はセルコン・スマート・



セルコン・スマート・セラミックス・システムはおなじみ

セラミック・システムに追加する最新型スキヤニング装置セルコンアイ(医療機器許可番号：09B1X0000506DL01、価格：172万円)を新発売することを発表。セルコンアイの登場により、CADによるロング・レンジのジルコニア・フレームの製作が可能になった。お問合せ：同社マーケティング本部 s-furukawa@dentsply-sankin.com TEL: 03-5114-1018

(3面よりつづく)

「考えれば初診料で1,800円頂いているわけですし、たとえば歯科口腔衛生指導の中で当院ではこういう院内感染対策を行っていますという説明も文書で説明し、それで1,000円頂いたらその費用を感染対策の経費に回せばいいことではないですか。一部のセミナーや研修会で感染対策の費用として患者さんひとり500円とるとか1,000円とるとかという話もあるようですが、それは患者さんから頂く筋合いではないと思います。ましてそれをもとに他院との差別化を図るといふ発想は少し違うのではないかと思います」と久保寺先生は語る。

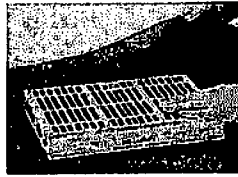
■歯科界の再生は「医療安全」の徹底から

リンカイ塾の見崎努取締役社長が示すとおり、滅菌においてはクラスBがもはやグローバルスタンダードになりつつある趨勢の中で、明らかに立ち遅れている日本が、医科の基準、さらには世界基準にまず追いつくべきというのが改定医療法のひとつのねらいとも言えるだろう。

歯科界が失われた信頼を回復し、歯科医院経営が長引く低迷から脱するためには、まず国民に「安全」な歯科医療を提供することを目標に、歯科界全体が医療環境の改善を図る努力をすることが必要ではないだろうか。

④IMS・インストゥルメント管理システム

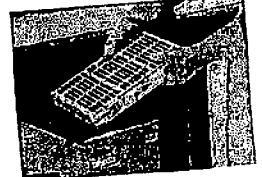
インストゥルメントを収納するカセットを利用して洗浄・水洗・滅菌・保管を行うシステム。(ヒューフレディ)



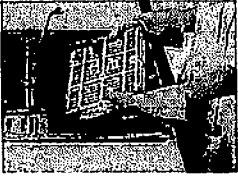
術前に必要な器材を入れたカセットをチェアサイドへ。



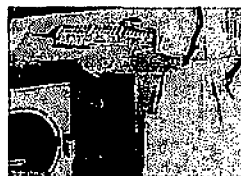
術後、セメントなどはふき取り汚物は捨てて洗浄コーナーへ。



カセットのまま超音波洗浄器へ。感染源に触れずに洗浄できる。



流水下で洗浄剤を洗い流す。

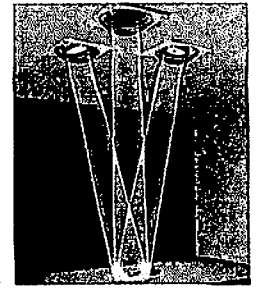


次回必要なコットンやガーゼを加えラッピングして滅菌。



ラップに包装したまま保管。

⑤ハロゲンHOSPILITE・無影灯  
一般照明のように必要な台数を簡単に取り付けでき、手元の発光部のセンサーを自動的に追いかけて焦点を当てる。術中に器具に触れる必要がない。  
(第一照明機)



ワールドデンタルショー2006で見つけた新製品・注目製品

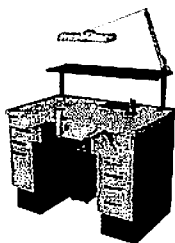
恒例のデンタルショー製品特集。今回はデンタルショーウォッチャーとして知られる久保寺司先生の編集協力を得て、本紙編集部と開業医の視点から見たお勧め製品を一堂にご紹介します。(一部申請中の製品を含みますのでご了承下さい)

■技工関連機器にも見どころあり

「技工関係は地味といえど地味ですが、今回出た材料と機器によって作業性が大きく改善されるだろうと期待できるものいくつかあります。下村石膏から硬石膏のいいのが出ましたね。膨張率が0.05%というから凄いです。アルジネートも石膏も練れるオートミキサー(日本歯科商社)もすぐれもの。これをいい香りの出るワックス(日本歯研工業)を使って、

リーズナブルな技工台(名南歯科貿易)で作業する、このあたりで決まりですね」

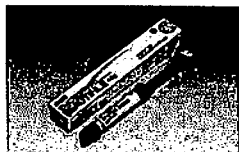
「余談ですが、海外のデンタルショーにいくと日本で開発されて薬事の承認が取れる見込みがないため海外で売っているという商品にお目にかかります。5分で分かる唾液検査キットとか国内で何とかならないかと思えます。今の薬事法は本当にダメですね(ドクターK)。



■ラポベンチ・技工用デスク  
リーズナブルな価格で技工作業に必要な基本機能が揃う。(名南歯科貿易製)



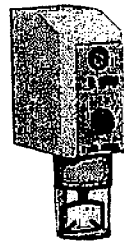
■アロマインレワークス  
芳香性のキャストリングワックス。ジャスミン



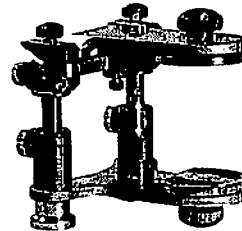
■ビューティフルII  
充填用コンポジットレジン。付形性を重視したペースト性状に改良し操作性が向上。28B1X00004(朝松園)



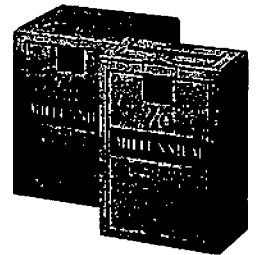
■フルオロポンドII  
光重合型ボンディングシステム。接着性・操作性・生体親和性・X線透射性がバランス良く調和。21700BZ ZD0430(朝松園)



■ツイスターエポリーション  
バキューム内蔵ミキサー。1台で石膏、埋没材、アルジネート印象材の練和が可能。手練り不要。バキューム内蔵のためエアーを必要としないなど利点が多い。13B3X00015(朝日本歯科商社)



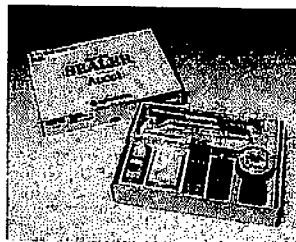
■カナレーター・咬合器  
「輪(インサイザルピン)のない咬合器おもしろいですね。安いし仕事し易いと思います。ものすごく高い咬合器もありますがドクターが趣味で買うようなものですからね」(日新デンタル製)



■ミレニアム・超低膨張硬石膏  
2時間後の硬化膨張率0.05%という飛躍的な精度を持つ硬石膏。11B20533(下村石膏製)



■デンタCADシステム  
ヒンデルズ社製デンタCADシステムに、3Dスキャニング装置「ハイスキャン3CCD」(写真)とCAM装置「ハイカット5輪」が加わりさらにグレードアップ。27B2X00013、27B2X00013(パナソニックデンタル)



■スーパーポンド 祖充シーラー  
辺縁封鎖性に優れ、「密着封鎖」から「接着封鎖」を実現。21400BZ200 187000(サンメディカル製)



■オパールエッセンス10%  
過酸化尿素ホワイトニング材。粘性が高くトレイから流れずにソフトタイプのトレイを使用できる。21800BZG10008000(ウルトラデントジャパン製)